

2023年1月27日

## 尿中薬物ラテラルフローイムノアッセイキットの 法医試料を用いた性能評価研究

法医解剖では、ご遺体の方が薬物を服用していた可能性を調べるために、簡易薬物検査キット（薬物ラテラルフローイムノアッセイキット）を使用し尿中の薬物を検査します。この簡易薬物検査キットによる薬物のスクリーニングは非常に有用な反面、欠点（偽陽性（交差反応を含む）・偽陰性・反応感度）も多数あり、その欠点を理解するためには多数の実証結果を集め、十分に議論する必要があります。そこで本研究では、過去に香川大学で実施された法医解剖事例の資料・データを用いて、簡易薬物検査キットの性能検証を行います。この研究は、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづき香川大学医学部長の許可を得て行っています。

### 1. この研究の対象となる方：

香川大学医学部にて2017年1月1日から2022年12月31日までの期間に法医解剖を実施した方のうち、簡易薬物検査キットを用いて検査を実施した方を対象に、解剖時に収集した資料から年齢・性別・死因・死後経過時間・薬物検査結果（簡易薬物検査キットおよび機器分析を用いた薬物検査結果）などのデータを収集させていただきます。

### 2. 対象になった方の不利益と危険性：

研究に用いる資料およびデータは個人名が特定できないようにした上で、厳重に管理しますので、研究の対象になることで、特に不利益が生じることはありません。また、この研究のために新たに新規データを取得することはなく、既存の資料からデータを収集し利用しますので、対象の方に対して危険性はありません。

3. 検討成果は、今後の鑑定・検査の精度向上に寄与することで、社会に還元・貢献していくことができます。ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

4. この研究について、ご遺族様から研究への参加を希望されないお申し出がございましたら、適切に対応します。ただ、研究に利用する研究対象者の個人情報に関しては、お名前、年齢など、研究対象者個人を特定できる情報は削除して管理いたします（これを「匿名化」といいます。）。そのため、研究の進捗状況によっては「匿名化」

を行った後では、どなたの情報なのかを識別する方法がありません。その際には、お申し出に対応することが困難な場合もありますので、ご了承下さい。

また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も研究対象者と特定できる個人情報等は利用いたしません。

5. 本研究に関する連絡・お問い合わせ：

研究責任者 木下博之

香川大学医学部 人間社会環境医学講座 法医学

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸 1750-1

TEL: 087-898-5111 内線 2542

FAX: 087-891-2141